

島田市文化芸術推進計画シンポジウム

文化を活かした

〈まち〉のつくり方

―各地を知り尽くした専門家が 大井川を舞台に語る―

参加費無料

2017年に施行された文化芸術基本法に伴い、文化政策の対象が「観光・まちづくり・国際交流・教育・福祉・産業」等にまで広がりました。同法に基づいて島田市は文化芸術推進計画づくりを進めているところです。地方都市の魅力をいかにつくるのか？ 地域の誇りをどのように形成するのか？ 全国各地の計画策定に関わった専門家2人を招いて「文化のまちづくり」の秘訣をうかがいます。島田市民はもちろん、県内外の自治体・民間企業・非営利団体などの関係者も大歓迎します！「文化を活かした〈まち〉のつくり方」を一緒に考えてみましょう。（無料の体験型現地見学ツアーも行います。詳しくは裏面をご覧ください。）

日程 令和元年 11月9日(土) 14:00-17:00

場所 島田市民総合施設「プラザおおるり」
3階大会議室

お車でお越しの方は「プラザおおるり」、市役所の駐車場、または有料駐車場「び〜ファイブ」をご利用ください。「び〜ファイブ」をご利用の方についてはシンポジウム会場で駐車券をお渡します。

主催 / 島田市 後援 / 島田市教育委員会・島田市文化協会・日本アートマネジメント学会

日程 令和元年11月9日(土)

場所 島田市民総合施設「プラザおおり」3階大会議室

シンポジウム 14:00-17:00

パネリスト

中川 幾郎

博士(国際公共政策)。帝塚山大学名誉教授。日本文化政策学会初代会長、自治体学会代表委員を歴任。現在は滋賀県文化審議会会長、大阪府・大阪市文化振興会議副座長を務めている。著書に共著『アーツ・マネジメント概論』(水曜社、2001)、単著『分権時代の自治体文化政策』(勁草書房、2001)、共著『岐路に立つ指定管理者制度』(水曜社、2019)ほか。

藤野 一夫

神戸大学大学院国際文化学研究科教授。ベルリン自由大学等のフェローや客員教授を務める。日本文化政策学会副会長、神戸市民文化振興財団理事、びわ湖芸術文化財団理事など。編著『公共文化施設の公共性運営・連携・哲学』(水曜社、2011)、編著『地域主権の国 ドイツの文化政策』(美学出版、2017)ほか。

コーディネーター

松本 茂章

博士(政策科学)。静岡文化芸術大学教授。日本アートマネジメント学会会長、日本文化政策学会理事、文化と地域デザイン研究所代表など。著書に単著『官民協働の文化政策 人材・資金・場』(水曜社、2011)、同『日本の文化施設を歩く 官民協働のまちづくり』(水曜社、2015年)ほか。

体験型現地見学ツアー 10:00-13:00

専門家による説明を聞きながら、島田の魅力を知り、大井川を渡る川風を楽しみながら、文化資源への理解を深める「体験型現地見学ツアー」です。途中、郷土芸能も登場します。

見学先

蓬萊橋、川越遺跡

10:00 市役所発
島田駅南口発
蓬萊橋見学
川越遺跡見学
(川越遺跡番宿にて昼食)
13:00 市役所着

天候等により、変更する可能性があります。

- 雨天決行、荒天中止。
- 参加ご希望の方は、10月15日までに、下記の参加申込書にご記入いただき、郵送、FAX、メールまたは直接島田市文化資源活用課にご提出ください。
- 見学先への移動は市の手配するバスに乗ります。
- 昼食はお弁当(税込1000円程度)をお買い求めいただけます。史跡・川越遺跡の番宿(人足たちのたまり場)と一緒に食事します。お弁当の代金は当日昼食会場でお支払いください。あるいは番宿近くのそば屋「そば玄」にてお買い求め、番宿に持ち込むことも可能。各自でお弁当をご持参いただいても大丈夫です。
- お弁当を購入される方は、参加申込書の弁当購入欄の「有・無」のどちらかに○を付けてください。

お問合せ・参加申込先

島田市産業観光部 文化資源活用課 〒427-8501 静岡県島田市中央町1-1
TEL: 0547-36-7381 FAX: 0547-36-7815 e-mail: b-katsuyou@city.shimada.lg.jp

当日の緊急連絡先

株式会社フジヤマ(受託業者)担当伊藤 TEL: 090-8487-8039

体験型現地見学ツアー 参加申込書

ふりがな

氏名

住所

〒

当日連絡先

- -

性別 男・女

弁当購入 有・無

年齢

歳

備考